

古賀市の自治(まちづくり)をより良く進めるための仕組み・ルール 検討用資料

大項目	小項目	まちづくりのキーワード サマーミーティング・策定委員会が出された意見(抜粋)
情報共有	情報の収集・発信	<p>[キーワード]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちのことを知る「古賀学」 <p>[意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題や解決策が共有されていない[サP8] ・古賀で会社勤めだが、古賀のことをわかる機会がない[はP1] ・情報を得る方法が少ない・仕事が忙しく回覧板を見ていない[はP1] ・古賀のよい点を発掘し、共有する[サP5] ・古賀をよく知らない。良いところをもっと知ってPRしていきたい[サP21] ・防災、高齢化、独居が増えて情報共有が難しい。人命と個人情報保護[サP16]
参加と共働	対話と交流の場づくり (市民参加、定期的対話集会、組愛)	<p>[キーワード]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な人のつながり・交流、「組愛」 ・安全と安心、助け合い・思いやり ・まちの活気、産業 ・まちづくり、自由に色々企画できる雰囲気 ・住んで良かったといえるまち、住みたいまち ・次世代にバトンタッチできるまち <p>[意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人と人とのつながりから新しいことが生まれる[サP5] ・地域の人たちや世代の違う人たちとのコミュニケーションがとれるまちづくり[サP13] ・先輩の知恵をどう受け継ぐか、どう伝えるか →色んな世代から、色んなものを受けとることのできる場はあるのか?[はP2] ・まちづくりの担い手が固定化していると感じる。現在の充実した担い手から次の世代へと、どうバトンを渡していくか、今から考えないと[サP10] ・まちづくりに関わるのにハードルが高い～知らない、きっかけがない[サP12] ・企画を言える場がない[サP16] ・まちづくりに住民の意見を取り入れて欲しい[サP20]
	コミュニティの推進 (自治会、校区コミュニティ、市民活動団体)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の意見だけでなく、市職員、市議の意見も聞きたいし、それらもすりあわせて条例づくりをしていくのが良い[サP17] ・行政・校区・自治会がそれぞれやるべきことを考えるのが基本なのでは?[サP23] ・「内なる分権」～行政から地域にやれることを分割し、地域がやれることを拡大し、活性化する[サP18] ・校区内でのコミュニティ活動はさかん。校区同士の活動がもっとあった方が良い[サP15] ・いろいろな能力をもった人の活用が、まちづくりになる[サP10] ・共働が少ない。市民の意欲を活かすシステムがない・知られていない[サP6] ・様々な経験・知識を持った優秀な人材が多いが活かされてない[サP6] ・校区コミュニティの今後の進め方を明確に[サP8] ・地域活動に対する市の助成強化、各種団体の交流の場が不足[サP11] ・ボランティア活動の支援が必要[サP11] ・自治会未加入者の増加[サP15] ・地域の方の心があたたかい(見守り隊など)→次世代につなげていきたい[サP17] ・地域の世話役や役員のなり手がいない[サP18]
市政	市民のための市政運営	<p>[意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民と市職員の分業(住み分け)が不明確[サP17] ・要望に対して行政の対応が遅い[サP18] ・古賀市の行政運営の動きがわからない[サP23]
議会	市民のための議会運営 (議会基本条例)	<p>[意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の意見だけでなく、市職員、市議の意見も聞きたいし、それらもすり合わせて条例づくりをしていくのが良い[サP17] ・市民、議会で意見を出し合い、人が増えてよくなるまちづくりを[サP26]

※サ:古賀みらいサマーミーティング報告書(第8回策定委員会 資料3)

は:はじめの一步案ver.0(第5回策定委員会 資料5)